

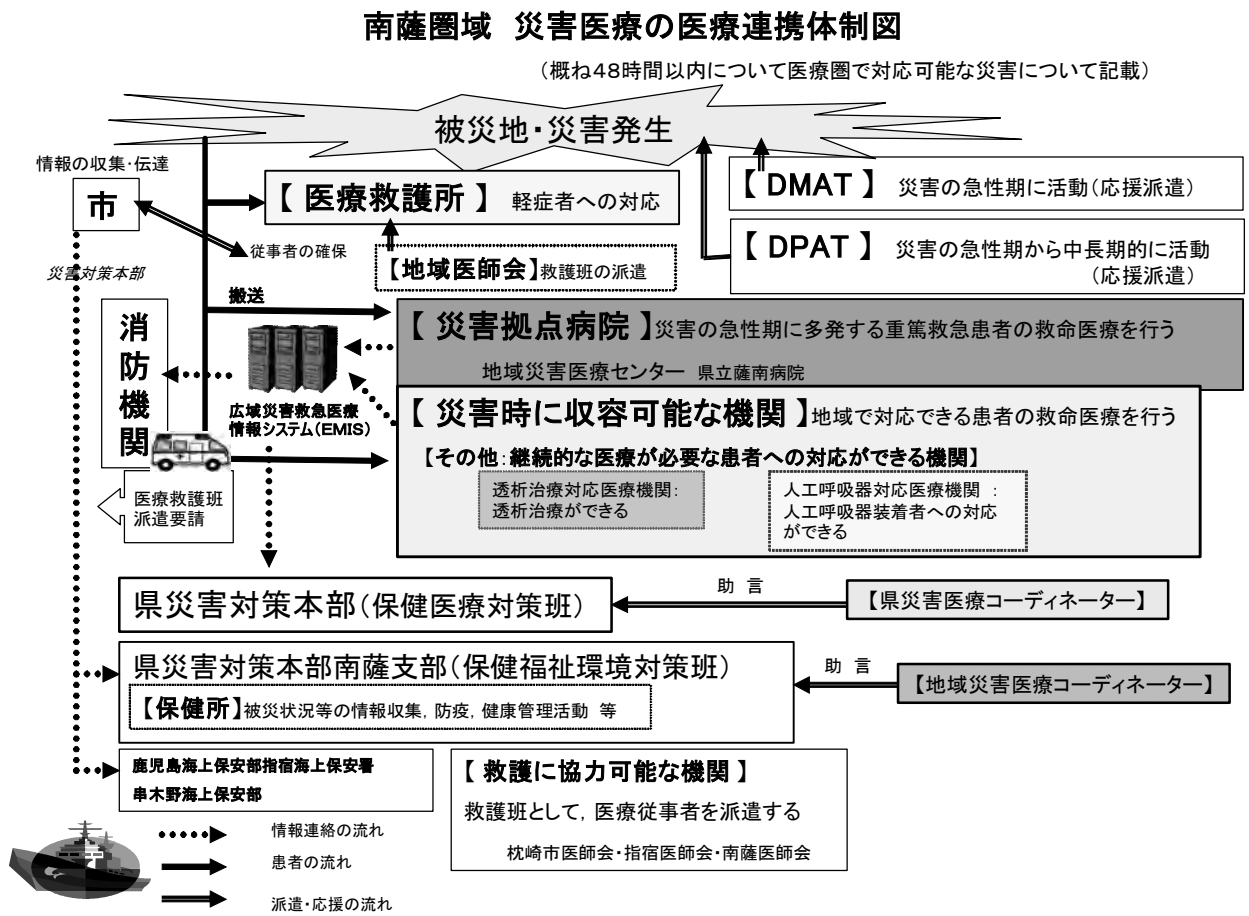
【図表資-5-62】南薩保健医療圏 救急医療の医療機関連携体制

南薩地域の初期救急医療・第二次救急医療

市町村名	医療機能			問い合わせ先
	救護	初期 救急医療	第二次 救急医療	
枕崎市	○			枕崎市消防本部 ・119番
		○ (休日 昼間)		枕崎市医師会による在宅当番制参加医療機関 ・枕崎市の年間休日当番表または毎月の市の広報誌及び市ホームページ参照(枕崎市休日当番医) ・枕崎市消防本部 電話 0993-72-0049 ・枕崎市医師会ホームページ(枕崎市医師会休日当番医)
		○ (夜間)	○	枕崎市消防本部 電話 0993-72-0049
指宿市	○			指宿南九州消防組合(南薩3市消防指令センター) 119番
		○ (休日 昼間)		指宿医師会による在宅当番制参加医療機関 ・指宿市の年間休日当番表または毎月の市の広報誌及び市ホームページ参照(指宿市休日当番医) ・指宿南九州消防組合指宿消防署 電話 0993-22-5111 ・指宿南九州消防組合山川・開聞分遣所 電話 0993-34-0119 ・指宿南九州消防組合防災テレホンサービス 電話 0993-22-6868 ・指宿医師会ホームページ(指宿医師会当番医)
		○ (夜間)	○	・指宿南九州消防組合指宿消防署 電話 0993-22-5111 ・指宿南九州消防組合山川・開聞分遣所 電話 0993-34-0119 ・指宿南九州消防組合防災テレホンサービス 電話 0993-22-6868 ・指宿医師会ホームページ(指宿医師会当番医)
南さつま市	○			指宿南九州消防組合(南薩3市消防指令センター) 119番
		○ (休日 昼間)		南薩医師会による在宅当番制参加医療機関 ・南さつま市の年間休日当番表または毎月の市の広報誌及び市ホームページ参照(南さつま市休日当番医) ・南さつま市消防本部南さつま消防署 電話 0993-52-3145 ・南薩医師会ホームページ(南薩医師会休日当番医)
		○ (夜間)	○	南さつま市消防本部南さつま消防署 ・電話 0993-52-3145
南九州市	○			指宿南九州消防組合(南薩3市消防指令センター) 119番
		○ (休日 昼間)		南薩医師会による在宅当番制参加医療機関 ・南九州市の年間休日当番表または毎月の市の広報誌及び市ホームページ参照(南九州市休日当番医) ・指宿南九州消防組合 南九州消防署 電話 0993-83-2222 ・指宿南九州消防組合 穎娃分遣所 電話 0993-36-0119 ・指宿南九州消防組合 川辺分遣所 電話 0993-56-2001 ・南薩医師会ホームページ(南薩医師会休日当番医)
		○ (夜間)	○	・指宿南九州消防組合 南九州消防署 電話 0993-83-2222 ・指宿南九州消防組合 穎娃分遣所 電話 0993-36-0119 ・指宿南九州消防組合 川辺分遣所 電話 0993-56-2001 ・南薩医師会ホームページ(南薩医師会休日当番医)

[南薩地域振興局作成]

【図表資-5-63】南薩保健医療圏 災害医療の医療連携体制図



[南薩地域振興局作成]

【図表資-5-64】南薩保健医療圏 災害医療の医療機能基準

- ・ **災害拠点病院**  
 (地域災害医療センター) 災害拠点病院としての機能  
 災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行う  
 (応援派遣) DMAT等医療従事者を派遣する機能  
 被災地周辺に対し, 自己完結型の緊急医療チームを派遣する
- ・ **災害時に收容可能な機関**  
 地域で対応できる患者の救命医療を行う
- ・ **救護班に協力可能な機関**  
 救護班として医療従事者を派遣する
- ・ **その他: 継続的な医療が必要な患者への対応ができる機関**  
 (人工呼吸器対応医療機関)  
 人工呼吸器を装着している在宅療養患者への対応ができる  
 (透析治療対応医療機関)  
 透析治療ができる

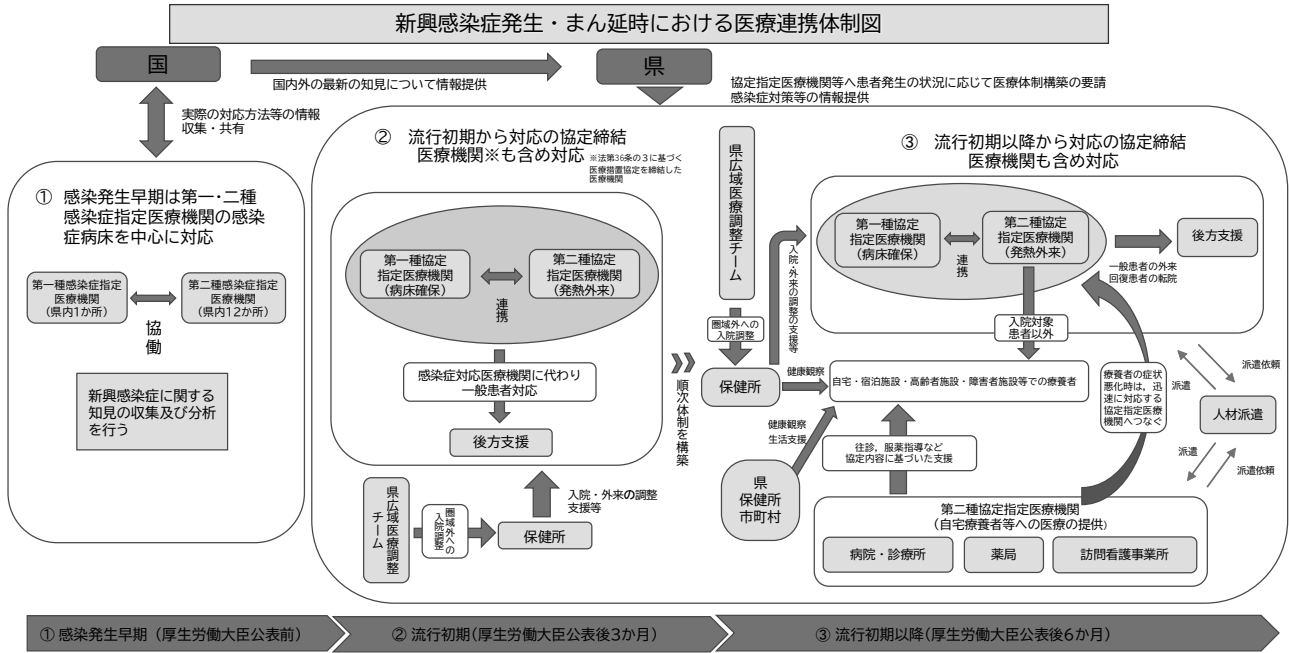
[南薩地域振興局作成]

【図表資-5-65】南薩保健医療圏 災害医療の医療機能基準

機能	災害拠点病院		災害時に収容可能な機関	救護に協力可能な機関	その他	
	災害拠点病院としての機能 【地域災害医療センター】	DMAT等医療従事者を派遣する機能【応援派遣】			人工呼吸器対応医療機関	透析治療対応医療機関
求められる機能	災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行う	被災地周辺に対し、自己完結型の緊急医療チームを派遣する	地域で対応できる患者の救命医療を行う	救護班として医療従事者を派遣する	人工呼吸器を装着している在宅療養者への対応ができる	透析治療ができる
医療機関	・災害拠点病院 (県立薩南病院)	・県立薩南病院 ・国立病院機構指宿医療センター	・各医師会災害対策の体制に従って対応 枕崎市医師会(0993-72-5059) 枕崎市について対応 指宿医師会(0993-24-2953) 指宿市について対応 南薩医師会(0993-53-6062) 南さつま市・南九州市について対応	・各医師会の体制に従って対応	・各医師会の体制に従って対応	・県透析医会災害時ネットワークに従い対応。  ・上記以外については、各医師会の体制に従って対応

[南薩地域振興局作成]

【図表資-5-66】南薩保健医療圏 新興感染症発生・まん延時における医療の医療連携体制図



鹿児島県感染症対策連携協議会

平時から関係機関間の連携・役割を協議、有事の連携支援

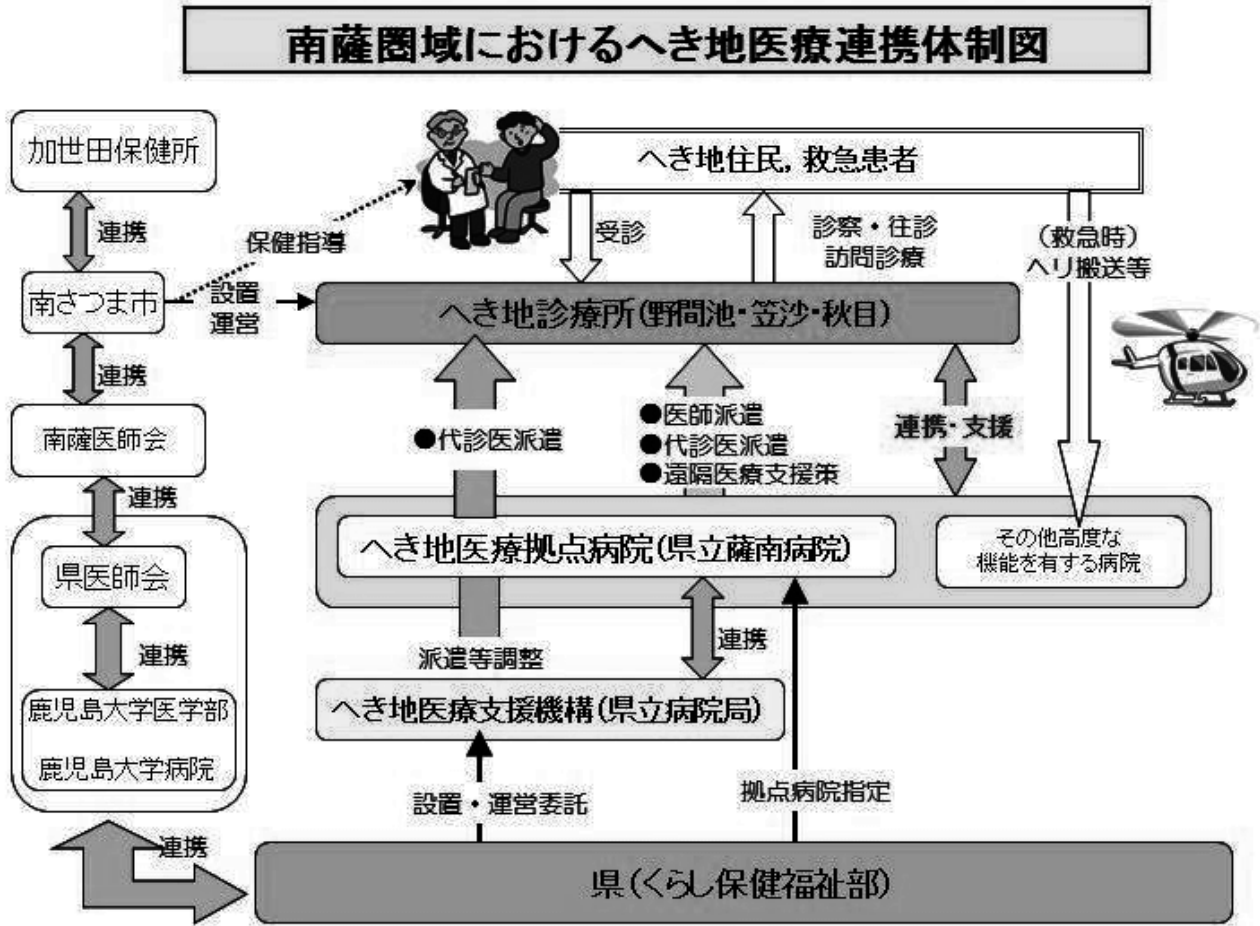
[県健康増進課作成]

【図表資-5-67】南薩保健医療圏 新興感染症発生・まん延時における医療の医療機能基準

医療機能	病床確保	発熱外来	自宅療養者等への医療提供	後方支援	人材派遣
協定種別	第一種	第二種	第二種	-	-
内容	新興感染症患者を入院させ、必要な医療を提供する。	新興感染症の疑似症患者等の診療を行う。	自宅、宿泊療養者、高齢者施設、障害者施設等での療養者に対し医療を提供する。	新興感染症患者以外の患者に対し医療を提供する。	新興感染症に対応する医療従事者を確保し、医療機関その他の機関に派遣を行う。
医療機関 (協定対象)	・病院 ・診療所	・病院 ・診療所	・病院 ・診療所 ・薬局 ・訪問看護事業所	・病院 ・診療所	・病院 ・診療所
求められる事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>確保している病床で酸素投与及び呼吸モニタリングが可能であること。</li> <li>院内感染対策（ゾーニング、換気、個人防護具の着脱等を含む研修・訓練等）を適切に実施すること。</li> <li>県からの要請後速やかに即応病床化すること。</li> <li>機関間や事業者間の連携に当たっては通常医療の確保のため、後方支援や人材派遣の協定を活用した体制の確保を図ること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発熱患者専用の診察室を設けた上で、予め発熱患者等の対応時間帯を住民に周知又は地域の医療機関等と情報共有して、発熱患者等を受け入れる体制を構築すること。</li> <li>院内感染対策（ゾーニング、換気、個人防護具の着脱等を含む研修・訓練等）を適切に実施し、発熱外来を行うこと。</li> <li>機関間や事業者間の連携に当たっては通常医療の確保のため、後方支援や人材派遣の協定を活用した体制の確保を図ること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院・診療所は、必要に応じて薬局や訪問看護事業所と連携し、また、各機関間や事業者間でも連携しながら、往診やオンライン診療等、訪問看護や医薬品対応等を行うこと。</li> <li>機関間や事業者間の連携に当たっては通常医療の確保のため、後方支援や人材派遣の協定を活用した体制の確保を図ること。</li> <li>自宅療養者等が症状悪化した場合に入院医療機関等に適切につなぐこと。</li> <li>院内感染対策（ゾーニング、換気、個人防護具の着脱等を含む研修・訓練等）を適切に実施し、医療の提供を行うこと。</li> <li>患者に身近な診療所等が自宅療養者への医療を行う際は、患者の容体の変化等の場合に迅速に医療につなげるためにも、あわせてできる限り健康観察の協力を行うこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>流行初期の感染症患者以外の患者の受入や感染症から回復後に入院が必要な患者の転院の受入を行うこと。</li> <li>関係機関と連携し、感染症患者以外の受入を行うこと。</li> <li>自治体、医師会などの関係団体と連携し、通常医療の確保に努めること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人以上の医療従事者の派遣をすること。</li> <li>自院の医療従事者への訓練、研修等を通じ、対応能力を高めること。</li> </ul>
連携等	協定内容に基づいた適切な医療の提供と各協定締結医療機関等との連携				

[県健康増進課作成]

【図表資-5-68】南薩保健医療圏 へき地医療の医療連携体制図



[南薩地域振興局作成]

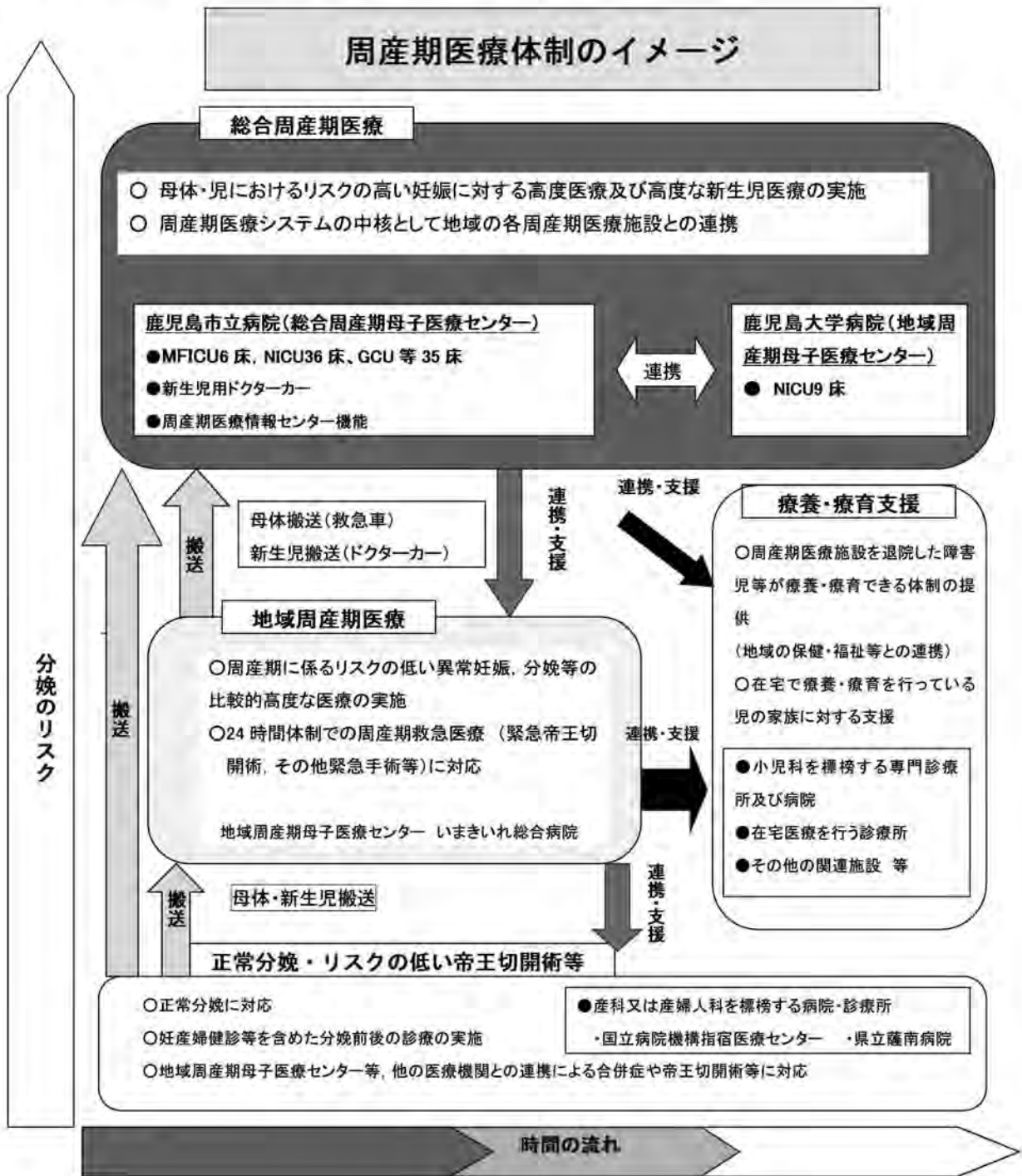
【図表資-5-69】南薩保健医療圏 へき地医療の医療機能基準等

目標	へき地における医療の機能	へき地医療を支援する医療の機能
医療機関等	<南さつま市> ・野間池診療所 ・笠沙診療所 ・秋目診療所	<へき地医療拠点病院> ・県立薩南病院 <へき地医療確保対策に係る総合調整> ・へき地医療支援機構
機能	・プライマリーの診療が可能な医療 ・巡回診療等の実施 ・必要な医療機器等の整備 ・へき地医療拠点病院等における研修への参加	・巡回診療等における医療の確保 ・へき地診療所への代診医等の派遣及び技術指導 ・へき地の医療従事者に対する研修の実施, 研修施設の提供 ・高度診療機能による, へき地医療拠点病院の診療活動の援助

[南薩地域振興局作成]

【図表資-5-70】南薩保健医療圏 周産期医療の医療連携体制図

薩摩産科医療圏(南薩保健医療圏)周産期医療連携体制のイメージ図



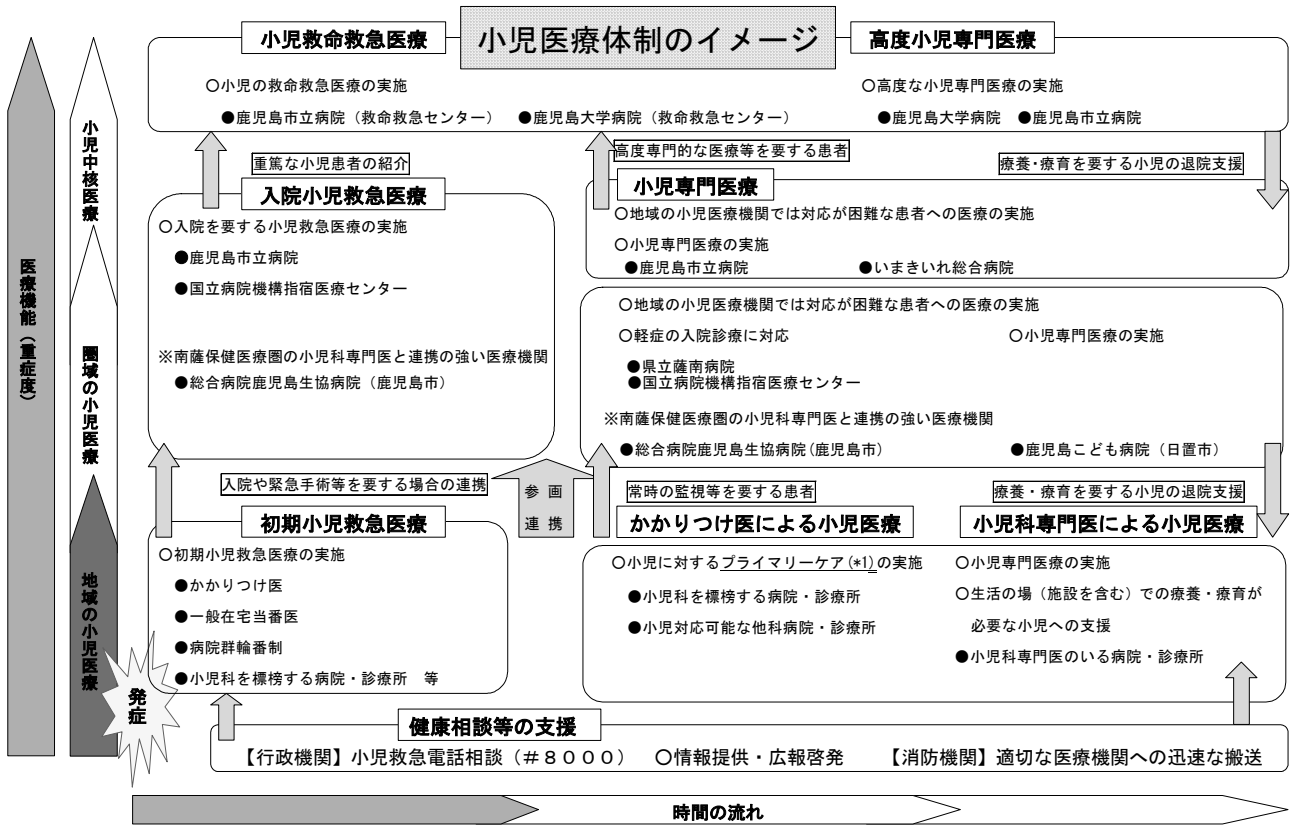
[南薩地域振興局作成]

【図表資-5-71】南薩保健医療圏 周産期医療の医療機能基準

	正常分娩・リスクの低い分娩	地域周産期医療	総合周産期医療	療養・療育支援
機能	正常分娩・リスクの低い分娩への対応(日常生活・保健指導、新生児の医療相談を含む)	周産期に係る比較的高度な医療行為ができる施設	母体・児におけるリスクの高い妊娠に対する医療及び高度な新生児医療を行うことができる施設	周産期医療施設を退院した障害児等が生活の場で療養・療育できるための支援
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正常分娩に対応</li> <li>●妊婦健診等を含めた分娩前後の診療の実施</li> <li>●他の医療機関との連携によるリスクの低い帝王切開術に対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●周産期に係る比較的高度な医療行為の実施</li> <li>●24時間体制での周産期救急医療(緊急手術を含む。)の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●母体・児におけるリスクの高い妊娠に対する高度医療及び高度な新生児医療の実施</li> <li>●周産期医療体制の中核としての地域の周産期医療施設との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●周産期医療施設を退院した障害児等が療養・療育できる体制の提供(保健・福祉等との連携)</li> <li>●在宅で療養・療育している児の家族に対する支援</li> </ul>
医療機関例	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産科又は産婦人科を標榜する診療所・病院</li> </ul>	<p>【地域周産期母子医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●いまきいれ総合病院</li> </ul>	<p>【総合周産期母子医療センター等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●鹿児島市立病院(総合周産期母子医療センター)</li> <li>●鹿児島大学病院(地域周産期母子医療センター)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小児科を標榜する専門診療所・病院</li> <li>●在宅医療を行う診療所</li> <li>●生活支援センター</li> <li>●児童デイサービス機関 等</li> </ul>
医療機関の基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産科に必要とされる検査・診断・治療が実施できる</li> <li>●正常分娩を安全に実施できる</li> <li>●他の医療機関との連携により合併症や帝王切開術その他の手術に対応できる</li> <li>●妊産婦のメンタルヘルスへの対応ができる</li> <li>●リスク管理の必要な妊産婦について、地域周産期医療施設、総合周産期医療施設との相互連携に対応できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産科及び小児科(新生児医療を担当するもの)を有すること</li> <li>●緊急帝王切開術等比較的高度な医療を提供することができる施設</li> <li>●新生児病室等を有する</li> <li>●小児科において、それぞれ24時間体制を確保するために必要な職員を配置している</li> <li>●産科において緊急に帝王切開術が必要な場合、迅速に手術への対応が可能となるよう医師及びその他の各種職員を配置している</li> <li>●地域周産期医療関連施設からの救急搬送の受入、総合周産期母子医療センター等と連携して対応できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産科及び新生児医療を専門とする小児科、麻酔科その他の関係診療科目を有すること</li> <li>●常時の母胎及び新生児搬送受入機関を有すること</li> <li>●母体・胎児集中治療管理室(MFICU)を有すること</li> <li>●新生児集中治療管理室(NICU)を有すること</li> <li>●新生児治療回復室(GCU)を有すること</li> <li>●新生児用ドクターカーを整備していること</li> <li>●検査機能、輸血の確保ができること</li> <li>●MFICU、NICUの24時間診療体制を確保するために必要な医師及びその他の職員を配置している</li> <li>●災害対策として業務継続計画を策定し、自県又は近隣県の被災時における積極的な物資や人員等の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人工呼吸管理が必要な児や、気管切開等のある児の受け入れが可能である</li> <li>●児の救急時に備えた、救急対応可能な病院等との連携ができる</li> <li>●医療・保健及び福祉サービス(レスパイト等を含む)と連携、調整し療養・療育ができる</li> <li>●地域及び総合周産期医療センター等と連携し、療養・療育の必要な児の情報(診療情報や治療計画)を共有している</li> <li>●自宅以外の場における、障害児の適切な療養・療育の支援ができる</li> <li>●家族に対する精神的サポート等の支援ができる</li> </ul>
連携	<p>地域周産期医療関連施設との連携 (ドクターカー等による母体・新生児の搬送)</p>		<p>療養・療育が必要な児の情報(診療情報や治療計画等)の共有</p>	
	<p>安全な産科医療を提供するために、社会の積極的な対話</p>			

[南薩地域振興局作成]

【図表資-5-72】南薩保健医療圏 小児医療の医療連携体制図



\*1 プライマリーケア:全ての患者が最初にかかる門戸として働く、保健医療従事者による保健医療活動

[南薩地域振興局作成]



【図表資-5-73】南薩保健医療圏 小児医療の医療機能基準【一般小児医療】

	健康相談等	地域の小児医療		圏域の小児医療		小児中核医療
	【健康相談等の支援】	【かかりつけ医による小児医療】	【小児科専門医による小児医療】	【小児専門医療】		【高度小児専門医療】
機能	・健康相談等の支援の機能	・地域の小児医療を担う機能		・地域に必要な小児専門医療を担う機能		・高度な小児専門医療を担う機能
				(南薩保健医療圏)	(薩摩小児科・産科医療圏)	
目標		・小児科に対するプライマリーケアの実施 ・医療情報の提供等	・小児科専門医のいる病院及び診療所 ・療養・療育が必要な小児に対する支援	・地域の小児医療機関では対応が困難な患者への医療の実施 ・軽症の入院診療の実施 ・小児専門医療の実施	・地域の小児医療機関では対応が困難な患者への医療の実施 ・小児専門医療の実施	・地域小児医療では対応困難な極めて高度な専門医療の実施
医療機関例		・小児科を標榜する病院及び診療所 ・小児対応可能な他科病院及び診療所	・小児科専門医のいる病院及び診療所	南薩保健医療圏の中核的役割を果たす医療機関 ・国立病院機構指宿医療センター ・県立薩南病院	薩摩小児科・産科医療圏の拠点病院 ・鹿児島市立病院 ・いまいきれ総合病院	鹿児島大学病院 鹿児島市立病院
医療機関の基準	(家族等周辺者) ・不慮の事故のリスク排除等ができる  (消防機関等) ・救急医療情報システムを活用し、適切な搬送ができる	・小児に対するプライマリーケアに必要とされる診断・検査・治療を実施できる	・小児医療に必要とされる診断・検査・治療を実施できる ・急変時に備え他の医療機関と連携対応している ・専門治療病院との診療情報の共有がある	・軽症の入院診療ができる ・慢性疾患の急変時に備えた、対応可能な医療機関との連携ができる ・専門治療病院との診療情報の共有がある。	・高度の診断・検査・治療で勤務医の専門性に応じた専門医療ができる ・常時監視・治療の必要な患者の入院診療ができる	・広範囲の臓器専門医療を含めた圏域の小児医療では対応が困難な患者に対する高度専門的な診断・検査・治療ができる
	(行政機関) ・情報提供・広報啓発ができる ・小児救急電話相談の啓発ができる	・療養・療育の必要な児への支援ができる ・保健・福祉サービス等との調整ができる ・家族への精神的支援ができる		・地域の小児医療機関との連携ができる ・高次機能の医療機関との連携ができる ・保健・福祉サービス等との調整ができる ・家族への精神的支援ができる		
連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より専門的な医療を要するなど対応が困難な患者に係る連携</li> <li>・療養・療育を要する小児の退院支援に係る連携</li> </ul>					

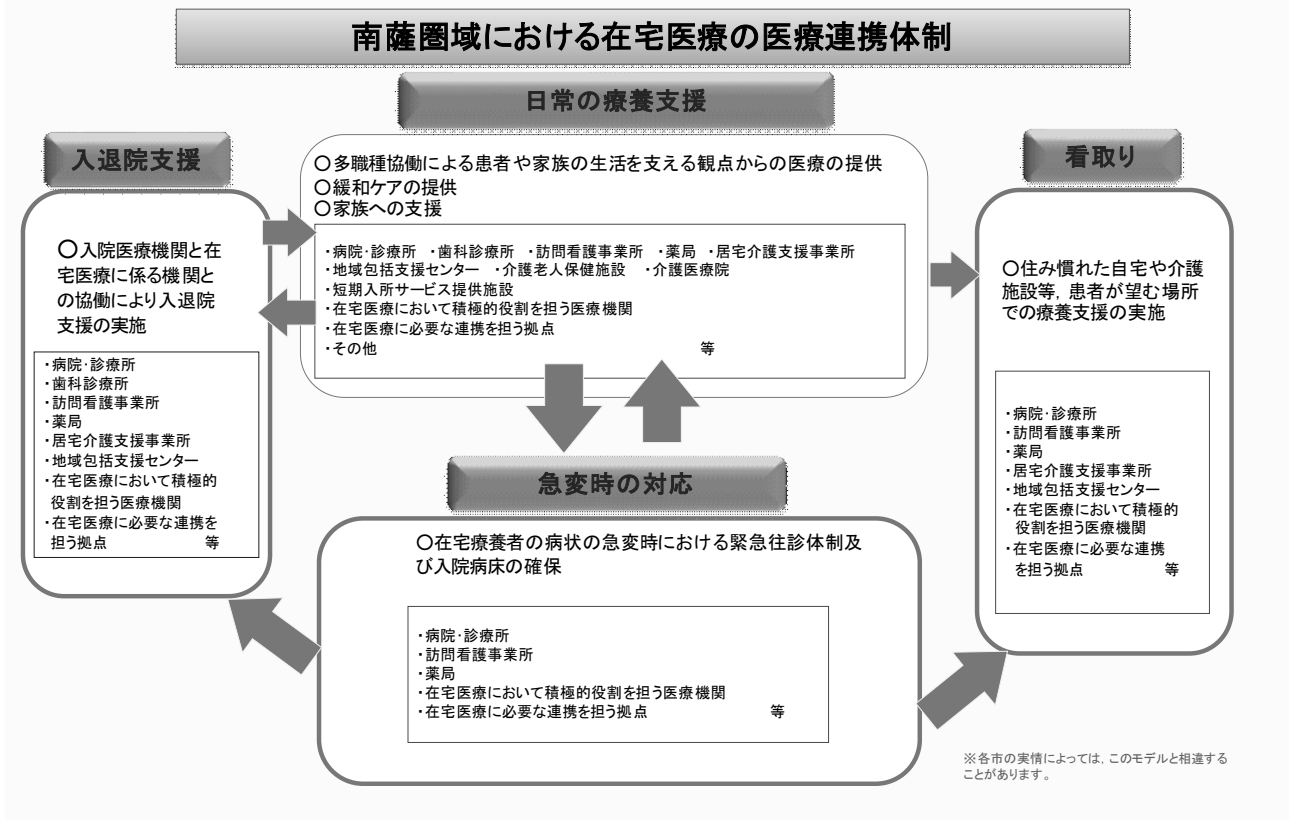
[南薩地域振興局作成]

【図表資-5-74】南薩保健医療圏 小児医療の医療機能基準【救急小児医療】

	地域の小児医療	圏域の小児医療	小児中核医療
機能	【初期小児救急医療】	【入院小児救急医療】	【小児救命救急医療】
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期小児救急医療を担う機能</li> <li>・初期小児救急の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院を要する小児救急医療を担う機能</li> <li>・入院を要する小児救急医療を24時間体制で実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児の救命救急医療を担う機能</li> <li>・24時間体制での小児の救命救急医療の実施</li> </ul>
医療機関例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ医</li> <li>・一般在宅当番医（指宿）（南薩）</li> <li>・病院群輪番制（非公開）（南薩）</li> <li>・小児科を標榜する病院・診療所等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薩摩小児科・産科医療圏の拠点病院 鹿児島市立病院</li> <li>・南薩保健医療圏の中核的役割を果たす医療機関 ・国立病院機構指宿医療センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島市立病院（救命救急センター）</li> <li>・鹿児島大学病院（救命救急センター）</li> </ul>
医療機関の基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急手術や入院などを要する場合に備え、対応可能な医療機関との連携ができる</li> <li>・在宅当番医、夜間急病センター等における初期小児救急医療を実施できる</li> <li>・開業医などによる夜間休日の初期小児医療への参画ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院を要する小児救急医療に24時間体制で対応できる</li> <li>・地域の小児医療機関との連携した小児救急医療が実施できる</li> <li>・小児中核医療機関と連携した対応を実施できる</li> <li>・療養・療育支援を行う施設と連携できる</li> <li>・家族への精神的支援ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域小児医療センターからの紹介患者や救急搬送による患者を中心とした重篤な小児に対し、24時間365日体制の救急医療ができる（小児集中治療室PICUを運営することが望ましい）</li> </ul>
連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より専門的な医療を要するなど対応が困難な患者に係る連携</li> <li>・療養・療育を要する小児の退院支援に係る連携</li> </ul>		

[南薩地域振興局作成]

【図表資-5-75】南薩保健医療圏 在宅医療の医療連携体制図



[南薩地域振興局作成]

【図表資-5-76】南薩保健医療圏 在宅医療の医療機能基準

機能	【入退院支援】	【日常の療養支援】	【急変時の対応】	【看取り】
機能	円滑な在宅療養移行に向けての入退院支援が可能	日常の療養支援が可能	急変時の対応が可能	患者が望む場所での終末期の支援が可能
目標	入院医療機関と在宅医療に係る機関の円滑な連携により、切れ目のない継続的な医療体制を確保すること。	患者の疾患、重症度に応じた医療（緩和ケアを含む）が多職種協働により、できる限り住み慣れた地域で継続的・包括的に提供されること。	在宅療養中の患者の病状急変時に対応できるよう、在宅医療を担う病院・診療所、訪問看護ステーション及び入院機能を有する病院・診療所との円滑な連携による診療体制を確保すること。	住み慣れた自宅や介護施設等、患者が望む場所での終末期の療養支援ができるよう支援すること。
求められる事項	<p><b>【入院機能を有する医療機関】</b></p> <p>①入退院支援担当者を配置している。</p> <p>②入院初期から退院後の生活を視野に支援している。</p> <p>③退院支援の際には、患者の住み慣れた地域に配慮した在宅医療及び介護資源の調整を心がけている。</p> <p>④退院後、患者が起こりうる病状の変化やその対応について、退院前カンファレンスや文書・電話等で、在宅医療に係る機関と情報を共有している。</p> <p><b>【在宅医療を担う医療機関】</b></p> <p>①在宅療養者のニーズに応じた医療や介護サービスの調整を行っている。</p> <p>②医療や介護の関係者間で在宅療養者に関する情報を共有し、連携している。</p>	<p><b>【在宅医療を担う医療機関】</b></p> <p>①在宅療養者のニーズに応じた医療や介護の提供、調整を行っている。</p> <p>②医療や介護の関係者が、地域ケア会議等に積極的に参加している。</p> <p>③地域包括支援センター等と協働し、在宅療養に必要な医療や介護、家族の負担軽減につながるサービス（レスパイトを含む）を適切に紹介している。</p> <p>④がん（緩和ケア体制の整備）、認知症（身体合併等の初期対応や専門医療機関への適切な紹介）等、それぞれの疾患の特徴に応じた在宅医療の体制を整備している。</p> <p>⑤身体機能及び生活機能の維持向上のためのリハビリを適切に提供する体制を構築している。</p> <p>⑥医薬品や医療、衛生材料等の供給を円滑に行うための体制を整備している。</p>	<p><b>【在宅医療を担う医療機関】</b></p> <p>①急変時における連絡先をあらかじめ在宅療養者や家族等に提示している。</p> <p>②急変時、在宅療養者や家族から求めがあった際に、24時間対応可能な体制を確保しているか、又は対応困難な場合でも、地域医師会の休日当番医制や精神科救急医療システム事業などに参画し、急変時に対応可能な体制を確保している。</p> <p>③搬送について地域の消防関係者等と連携を図っている。</p> <p><b>【入院機能を有する医療機関】</b></p> <p>①急変時において、無床診療所等からの相談に対応し、必要に応じた一時受入れを行っている。</p> <p>②重症等に対応できない場合は、他の適切な医療機関と連携する体制を構築している。</p> <p>③搬送について地域の消防関係者等と連携を図っている。</p>	<p><b>【在宅医療を担う医療機関】</b></p> <p>①終末期に出現する症状に対する在宅療養者等の不安を解消し、患者が望む場所で最期まで安心して療養が受けられる体制を構築している。</p> <p>②在宅療養者・家族等に対して、医療や介護、看取りに関する適切な情報提供を行っている。</p> <p>③終末期の療養（介護施設等を含む）に対し、必要に応じ支援している。</p> <p><b>【入院機能を有する医療機関】</b></p> <p>①終末期に出現する症状に対する在宅療養者等の不安を解消し、患者が望む場所で最期まで安心して療養が受けられる体制を構築している。</p> <p>②患者・家族等に対して、状況に応じた適切な情報提供を行っている。</p> <p>③在宅での療養が困難な場合は、必要に応じ受け入れている。</p>
関係機関の例	<p>①病院（地域医療連携室）・診療所</p> <p>②歯科診療所</p> <p>③訪問看護事業所</p> <p>④薬局</p> <p>⑤居宅介護支援事業所</p> <p>⑥地域包括支援センター</p> <p>⑦在宅医療において積極的役割を担う医療機関</p> <p>⑧在宅医療に必要な連携を担う拠点</p>	<p>①病院（地域医療連携室）・診療所</p> <p>②歯科診療所</p> <p>③訪問看護事業所</p> <p>④訪問リハビリテーション</p> <p>⑤通所リハビリテーション</p> <p>⑥薬局</p> <p>⑦居宅介護支援事業所</p> <p>⑧地域包括支援センター</p> <p>⑨訪問介護事業所</p> <p>⑩通所介護事業所</p> <p>⑪介護老人保健施設</p> <p>⑫短期入所サービス提供施設</p> <p>⑬地域密着型居宅サービス事業所</p> <p>⑭介護医療院</p> <p>⑮在宅医療において積極的役割を担う医療機関</p> <p>⑯在宅医療に必要な連携を担う拠点</p>	<p>①病院（地域医療連携室）・診療所</p> <p>②訪問看護事業所</p> <p>③薬局</p> <p>④在宅医療において積極的役割を担う医療機関</p> <p>⑤在宅医療に必要な連携を担う拠点</p>	<p>①病院（地域医療連携室）・診療所</p> <p>②訪問看護事業所</p> <p>③薬局</p> <p>④居宅介護支援事業所</p> <p>⑤地域包括支援センター</p> <p>⑥訪問看護事業所</p> <p>⑦介護老人保健施設</p> <p>⑧グループホーム</p> <p>⑨在宅医療において積極的役割を担う医療機関</p> <p>⑩在宅医療に必要な連携を担う拠点</p>

[南薩地域振興局作成]